

製品名: Lck ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21438**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:58kD;Observed MW:58kD

抗原情報

遺伝子名	LCK
別名	LCK;Tyrosine-protein kinase Lck;Leukocyte C-terminal Src kinase;LSK;Lymphocyte cell-specific protein-tyrosine kinase;Protein YT16;Proto-oncogene Lck;T cell-specific protein-tyrosine kinase;p56-LCK
遺伝子 ID	3932.0
SwissProt ID	P06239
免疫原	ヒト Lck の組み換えタンパク質

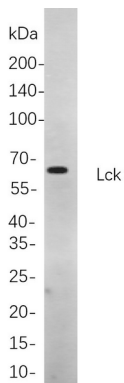
背景

細胞局在：細胞質、膜。この遺伝子は、タンパク質チロシンキナーゼ（PTK）の Src ファミリーに属する。コードされるタンパク質は、発達中の T 細胞の選択と成熟において重要なシグナル伝達分子である。ミリスチル化およびパルミチル化のための N 末端部位、PTK ドメイン、そしてそれぞれリン酸化チロシン含有モチーフおよびプロリンリッチモチーフとのタンパク質間相互作用を媒介する SH2 ドメインおよび SH3 ドメインを含む。このタンパク質は細胞膜および中心体周囲小胞に局在し、CD4 や CD8 などの細胞表面受容体やその他のシグナル伝達分子に結合します。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシングバリエントが報告されています。[RefSeq 提供、2016 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



Lck ウサギ mAb を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。